

平成25年度

「学生によるオレンジリボン運動」 松山東雲女子大学 実施報告書



実施主体 心理子ども学科3年生有志

実施内容 平成25年11月9・10日の大学祭にて啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待に関する学習、資料収集
- ・「児童虐待防止啓発標語」の募集・選考
- ・多数の学生によるオレンジリボン制作
- ・チャペルアワーでの啓発・呼びかけ
- ・来場者アンケートの企画・作成
- ・告知用掲示物、チラシ作成と掲示・配布

②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・資料、入賞標語作品、関連図書・絵本の展示と読書コーナーなどの設営
- ・チラシ・オレンジリボン配布、「飴のつかみ取り」企画などによる啓発・呼び込み活動
- ・「みんなで作ろう！オレンジリボン」企画
- ・来場者アンケート調査の実施と分析
- ・プロジェクト成果報告会(1月、チャペルアワー)

③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

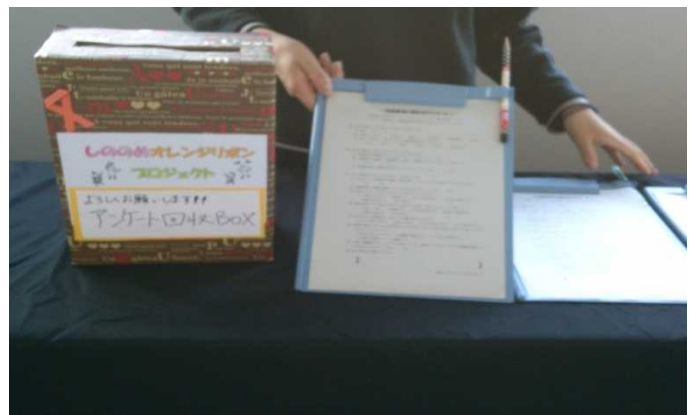
・予想を超えた来場者があり、また多くの協力を得て、相当数の人に働きかけることができた。

・特に関心の高い来場者もあり、熱心なやりとりや激励を受けた。自分たち自身で児童虐待のない環境を作っていく必要があると強く感じた。

・アンケート結果をみると、児童虐待への関心は高いが、子育て経験のある親、特に母親の不安が大きいことがわかり、身近な問題であるとともに、取り組みの重要性を感じた。

・「みんなで作ろう！オレンジリボン」企画では、来場者に一人ひとつずつオレンジリボンを貼って行ってもらった。全部集まって大きなオレンジリボンの形になったときとても達成感を感じた。

・今後も継続していけたらいいと思う。



<http://www.shinonome.ac.jp/site/college/>